

「第二期データヘルス計画」の概要

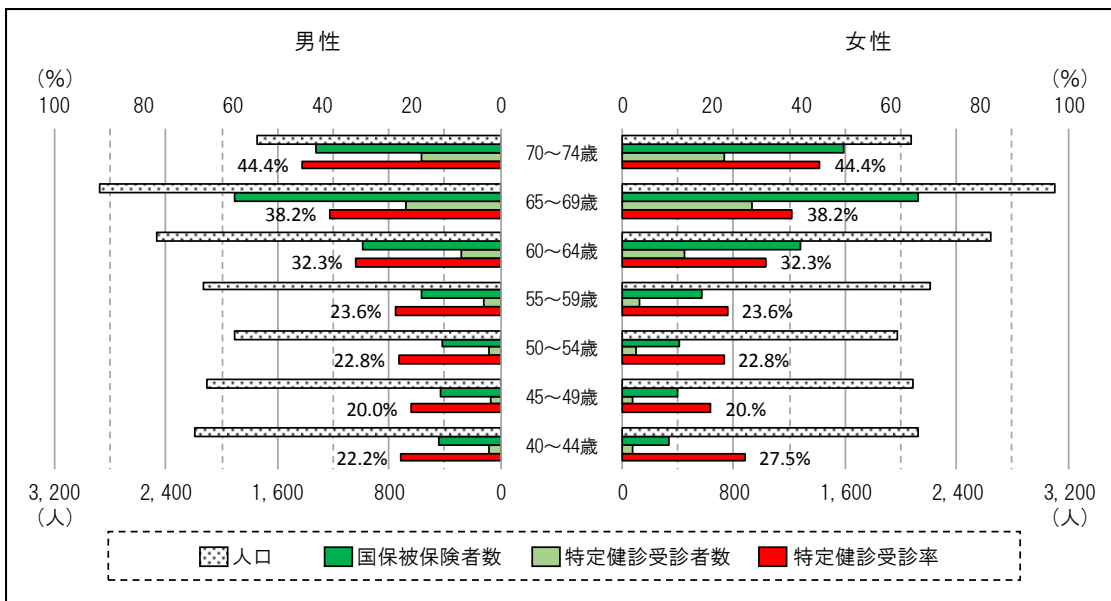
計画期間：平成30年度から平成35年度

計画の趣旨

保健事業の実施などに関する指針に基づき、健康・医療情報を活用してP D C Aサイクルに沿った保健事業を実施するため「十和田市国民健康保険保健事業実施計画書（第二期データヘルス計画）」を策定し、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康寿命の延伸及び医療費の適正化を図ることを目的とします。

十和田市の健康課題

- 65歳未満の死亡割合が国・県より高率です。
 男性 市：18.3% 県：15.7% 国：14.3%
 女性 市：8.2% 県：8.1% 国：7.6%
- 健診未受診者が約6割を占め、年代別では若い年代ほど特定健診受診率が低いです。
 市 45～49歳：約20% 市全体：37.2%
- 40～64歳では、健診・治療なしの割合が高く、症状がないまま重症化する可能性を抱えています。
- 一人あたり医療費が年々増加傾向にあり、糖尿病や脳血管疾患の医療費割合が多いです。
- 若いうちに介護保険を利用する割合が高いです。



平成35年度までの目標

1 目的

高血圧症や糖尿病の生活習慣病発症及び重症化を予防し、健康寿命の延伸を目指します。

2 長期的目標

高血圧症や糖尿病の生活習慣病対策を行い、医療費の適正化を図ります。

3 短期目標

長期的目標達成のために、平成35年度末での目標を定めます。

項目	現状	目標値	根拠
	平成28年度	平成35年度	
1 特定健診受診率の向上	37%	60%	第三期十和田市国民健康保険特定健康診査等実施計画
2 特定保健指導率の向上	29%	60%	
3 糖尿病性腎症重症化予防	30人	減少	青森県糖尿病性腎症重症化予防プログラム

十和田市の取り組み

1 特定健診受診率の向上

- ① 受診勧奨（通知、電話、保健協力員による受診勧奨）を実施します。
- ② 広報等による周知を行います。

2 特定保健指導実施率の向上

- ① 健診受診後早期に案内を送付後に初回面接を実施します。さらに6ヶ月後に電話や手紙、面接等で生活改善の支援や取り組みを評価します。

3 糖尿病性腎症重症化予防

- ① 糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や治療中断者への受診勧奨（通知、電話など）を実施します。
- ② 主治医と連携した保健指導を実施します。

その他の保健事業

1 重複・頻回受診者等に対する保健指導

- ① 重複・頻回受診者等を訪問して、受診状況を確認しながら生活習慣改善についての支援（訪問指導）を行います。

2 後発医薬品の使用促進

- ① 後発医薬品を使用した場合の具体的な差額に関して、年3回通知を行います。
- ② ジェネリック医薬品希望カードを配布します。